

岩手県有種雄牛産子市場成績

<令和8年9月市場>

岩手県農業研究センター畜産研究所 種山畜産研究室 電話0197-38-2312 FAX 0197-38-2177

【県有種雄牛別の取引成績】

菊美翔平、久隆照とも好調！

本県の9月市場の平均価格は、雌、去勢ともに全国平均を上回りました。こうした中、**菊美翔平**の産子の取引額は、最高で**1,032,900円**となりました。また、去勢、雌ともに発育が良好な子牛が多数上場しました。また、**久隆照**の産子は雌、去勢ともに平均体重及び平均価格で県平均以上となり、最高価格は、去勢の**1,200,100円**でした。
※ 久隆照については、凍結精液の安定供給に向け、取組を進めています。

表 1 **菊美翔平（きくみしょうへい）** 血統：辰美継－茂洋－平茂勝

性	母の父	母方祖母の父	日齢	体重	体重／日齢	価格(税込)
雌	安福久	白鵬85の3	279	342	1.23	955,900
	福之姫	美津照重	270	265	0.98	884,400
	茂晴花	舞菊福	317	352	1.11	836,000
	美津照重	百合茂	301	275	0.91	777,700
	北美津久	美国桜	285	286	1.00	771,100
	平均(17頭)		298	298	1.00	768,512
去	福之姫	茂晴花	279	365	1.31	1,032,900
	安福久	幸紀雄	267	338	1.27	1,028,500
	安福久	百合茂	274	330	1.20	982,300
	美国桜	華春福	278	342	1.23	935,000
	美国桜	幸紀雄	272	332	1.22	927,300
	平均(23頭)		282	326	1.16	887,365

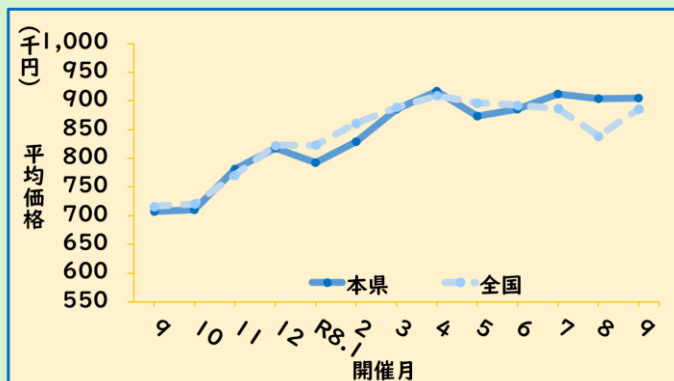
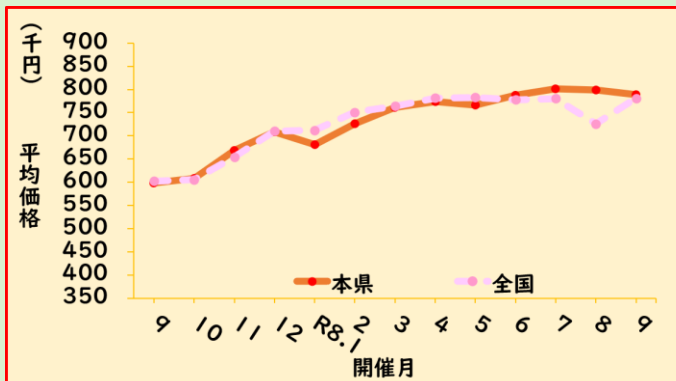
表 2 **久隆照（ひさたかてる）** 血統：美津照重－隆之國－安福久

性	母の父	母方祖母の父	日齢	体重	体重／日齢	価格(税込)
雌	勝早桜5	美国桜	280	279	1.00	833,800
	勝忠平	平茂勝	288	300	1.04	826,100
	平均(14頭)		295	295	1.00	794,200
去	福之姫	安福久	306	351	1.15	1,200,100
	勝乃幸	安福久	300	355	1.18	1,021,900
	平均(18頭)		300	326	1.09	917,522

表 3 令和8年8月期 JA全農いわて 子牛市場全体平均 (単位：円、kg、日、kg/日)

性	価格(税込)	体重	日齢	体重/日齢
雌	788,181	290	289	1.00
去	904,858	322	284	1.13

【本県及び全国※1の子牛市場平均価格】



※1 alic (独立行政法人農畜産業振興機構) HP 肉用子牛取引情報より引用、雄を含む

おすすめ岩手県有種雄牛！

◆ 豊富な肉量とバランスの良い肉質！

かつよくに
— 勝美国 —



菊福秀×美国桜
×勝忠平×第1花国

推定育種価		σ 値
枝肉重量	H	2.19
ロース芯	A	0.87
バラ厚	H	2.13
皮下脂肪厚	B	0.09
歩留	B	0.52
脂肪交雑	A	0.76

枝肉重量とバラ厚が
H評価！全ての形質が
平均以上の評価であり、
肉質のバランスが良い
産子が期待できます。
現場後代検定の成績
は、ロース芯面積が岩
手県歴代**1位**となりました。

◆ 量・サシ・くちどけの三刀流！

きくみしょうへい
— 菊美翔平 —



辰美継×茂洋
×平茂勝×紋次郎

推定育種価		σ 値
枝肉重量	H	2.33
ロース芯	B	0.23
バラ厚	H	2.15
皮下脂肪厚	D	-2.45
歩留	D	-0.76
脂肪交雑	H	3.04
オレイン酸	H	2.07
MUFA	H	2.01

枝肉重量、バラ厚、
脂肪交雑、脂肪の質が
H評価！
量・サシ・くちどけの
三刀流で、量もとれるう
えに美味しい牛肉を生産
できる種雄牛です。
県外にも絶賛販売中で、
現在、岩手県の県有種雄
牛のうち**一番人気**の種雄
牛です。

◆ ゲノム育種価で期待大！

かつのふじ
— 勝乃富士 —



勝乃幸×耕富士
×勝平正×福之国

ゲノム育種価	
枝肉重量	B
ロース芯	H
バラ厚	H
皮下脂肪厚	A
歩留	H
脂肪交雑	H
オレイン酸	A
MUFA	B

現場後代検定実施中
の「勝乃富士」のゲノ
ム育種価は**全ての形質**
が平均以上の評価であ
り、特にロース芯、バ
ラ厚、歩留、脂肪交雑
で**H評価**と期待の候補
牛です。

【育種価について】本牛写真付きの育種価表は推定育種価であり、枝肉重量、ロース芯、バラ厚、皮下脂肪、歩留及び脂肪交雑は令和8年4月時点、オレイン酸及びMUFAは令和7年7月時点の評価です。本ページ下表の「ゲノム育種価」は、家畜改良センターとの共同研究により算出されたゲノミック育種価を基に、標準偏差値を算出し、アルファベットで評価しています。他機関が公表している育種価とは、解析方法や予測するために用いる集団が異なるため直接の比較はできません。